



たどろ よしお
田所 良夫 議員
(新風(現・新政クラブ))



令和4年度予算(案)の大綱の
進捗状況について

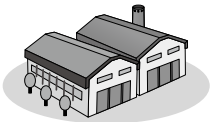
Q 令和4年度予算(案)の大綱の「魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり」の説明の中に、「地方移転を検討する事業者視点に立った誘致活動に取り組み、新たな産業の創出に努めてまいります」とあったが、その進捗状況を聞きたい。

A 産業文化スポーツ部長

産業団地の造成の取り組みとして出流原PA周辺総合物流開発Aゾーン整備を推進し、地権者の皆様との用地交渉を進めてきました。買収額と売却希望額の乖離並びに民間事業者、民間ディベロッパーが事業主体となった開発を一部の地権者が模索していることから、取得予定面積の9割を超える用地についての取得が見込めない状況となっております。こうした状況を踏まえ、今後の方向性等を検討していきたいと考えています。

その他の質問

- ☆佐野市職員の勤務状況と人事管理について
- ☆旗川河川復旧復興改修について



こもり りゅういち
小森 隆一 議員
(公明党議員会)



AYA世代のがん対策について

Q できるだけ若いときからがん検診を受けてもらうために、乳がん検診の無料クーポン券の発送を30歳に引き下げることができないか。また、佐野市でもAYA世代のがん患者への在宅ターミナルケア支援への助成について取り組んではいかがか、伺いたい。

A 健康医療部長

厚生労働省が示しているがんの効果的な検診体制の指針に基づき、40歳のときに乳がん検診の無料クーポン券を送付していますが、今後、他市の状況等を踏まえて調査研究していきたいと思えます。また、AYA世代における在宅ターミナルケアは、在宅療養する上で生活の質の向上に必要なサービスであるため、各種サービスにおける経済的負担が増す在宅ターミナルケア支援について県内で既に取り組んでいる市もありますので、今後、

その他の質問

- ☆新しい価値創造とウエルビーイングな視点をもった学校づくりへ
- ☆本市職員の地域貢献のための兼業について

支援や助成について研究していきたいと考えています。



たきた ようこ
滝田 洋子 議員
(日本共産党議員団)



学校教育における平和教育について

Q 日本は唯一の戦争被爆国であり、近隣市町では中学生の代表が毎年広島に行き、戦争の歴史や被爆体験者の話を聞いて、地元に戻ってから報告会を開き、多くの人に原爆の恐ろしさや戦争を起すてはいけないことを伝えている。次世代を担う中学生に戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識してもらうため、中学校及び義務教育学校の代表生徒を広島へ派遣する考えはないか、伺いたい。

A 教育長

次世代を担う児童生徒に原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さ、平和の大切さを引き継いでいくことは、極めて重要なことであると認識しているため、多くの児童生徒を対象とした学習を推進していきたいと考えています。限られた生徒を対象とした広島平和記念式典等への派遣については現在のところ考えていませんが、今後も戦争体験などに触れ、児童生徒が平和の尊さを学ぶことができる機会について研究していきたいと考えています。

その他の質問

- ☆山林・河川・畑や田んぼに捨てられたごみについて
- ☆18歳～39歳の健康診断について
- ☆クビアカツヤカミキリ駆除について